

平成30年度 鴨居中学校 キャリア教育 実施報告

『自らの将来を考える！～横浜市の交通を考える仕事の視点から～』

1 キャリア教育の概要

- 横浜市立鴨居中学校では、様々な仕事に携わる人々のお話を聴く授業を行っており、**出前講座「キャリア教育 自らの将来を考える！～横浜市の交通を考える仕事の視点から～」**を実施しました。
- 今回の出前講座のねらいは、自らの将来を考えるために、仕事の一つとして市役所の仕事を、まちづくり、特にバス等の公共交通に関する仕事内容を例にして説明し、市役所の仕事や身近な交通に興味・関心を持ってもらうことにあります。

■キャリア教育について

- 【日時】 平成31年1月25日(金)
第5～6校時 13:25～15:15
- 【対象】 鴨居中学校 1年生(48人)
- 【目的】
- ・自分の適性や将来の職業に結び付けるため、講話を通じて自分を見つめ、自分に合う職業について考えるきっかけを作る。
 - ・いろいろな職業を知る機会とする。
- 【内容】 説明用パワーポイントを用いた講話
- ▼主なテーマ
- ・市役所の仕事、都市交通課の仕事
 - ・モビリティマネジメントについて
 - ・具体的な業務の流れや心掛け
- …など

2 「横浜市交通分野で働く人のお仕事」の講話

- 説明用のパワーポイントを用いて、講話を進めました。
- 横浜市役所の仕事の全体像を説明し、具体的な業務の事例として、マナーポスターコンクールや学校授業で使用するグッズの作成に関する仕事を例に挙げ、クルマや公共交通、自転車などを上手く使い分ける「**モビリティマネジメント**」が大切であることを伝えました。
- 公務員として仕事をする際には、多くの人に関わること、だからこそ気を付けなければならないことを説明したうえで、**横浜市役所の職員としての仕事のやりがい**などを伝えました。
- 生徒からは、「市役所職員を目指したきっかけ、市役所職員として普段から心がけていること。」などの質問がありました。

■座学に用いた説明用パワーポイント

横浜市役所の仕事

このポスターを皆さんに描いてもらう前、描いてもらった後、横浜市役所はどんな仕事をしているでしょう?

バスでくまなく

モビリティマネジメント

マイカーに過度に頼るのではなく、バス利用が減ってきたバスに利用

市内を走るバスの1日乗車人員

年	乗車人員(人/日)
2000	9800
2001	9700
2002	9600
2003	9500
2004	9400
2005	9300
2006	9200
2007	9100
2008	9000
2009	8900
2010	8800
2011	8700
2012	8600
2013	8500
2014	8400
2015	8300
2016	8200
2017	8100
2018	8000
2019	7900
2020	7800

3 キャリア教育を終えて

- 生徒たちは今回の出前講座で交通に関する仕事に触れ、交通のまちづくりに興味・関心を持ち、**公共交通を維持することの必要性**について考えるきっかけとなることを期待します。
- また、将来を考えるにあたり、**自分の選択基準をしっかりとつことが大切**であることを、生徒たちは学びとってくれたのではないかと思います。

